



日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3 文化の日 ビックリ!にっぽん 大自然展～来年 1月10日	4	5	6 児童読書感想発 表大会、動物獣 舎探検隊(20日 も) 市消防音楽 隊演奏会
7 えぼし秋まつり あたご防火フェス ティバル、野鳥 の巣箱とプラン ターケース作り	8	9	10 中小企業金融公 庫出張相談 糖尿病展～12日	11 発明相談 市立総合病院の 健康教室	12	13 学校2学期制モ デル校実践発表 会、男女共同参 画宣言都市記念 講演会、市看祭
14 間伐作業とウッド プレゼント 親子であそぼ 健康と福祉の フェスティバル	15	16	17 出前保育「みんな よっといでー!」 (22日、12月7日 も)	18 子育て講演会～ 「おいしい」感覚 は生きる力～	19 秋の植木市～28 日、市原子力艦 防災訓練、きらき らフェスティバル ～12月26日	20 九十九島かき食 うかき祭り・ミニイ ベント～23日
21 させぼっ子環境サ ミット 海のフェスティバ ル イン させぼ	22	23 勤労感謝の日	24 特設人権相談所 (12月10日も)	25 平成16年分の年 末調整説明会	26	27 山城跡見学会 2004こどもフォー ラム 児童・生徒の郷 土研究発表会
28	29	30	11月は建設雇用改善推進月間 11月11日～12月10日は同和問題啓発強調月間 12月の主な行事予定 12/4 ながさき人権フェスティバル、動物獣舎探検隊 12/5 コンテナガーデン作り講習会、親子ものづくり教室 12/7 出前保育「みんなよっといでー!」			
毎月第1水曜 中小企業金融公庫出張相談 (13～15時、佐世保商工会議所)						
毎月第2金曜 発明相談(10時～15時30分、 市役所商工労働課)						

テレホンガイド

救急・火災

医療機関案内 ☎23-8199
火災情報 ☎0180-999-999
エイズ相談
専用相談電話 ☎0120-104-783
Eメールアドレス
shc783@city.sasebo.lg.jp

教育相談

青少年教育センター ☎22-0077
(毎月第2、4木曜の17時30分～20時30分には、
夜間教育相談も受け付けます)

女性相談

スピカ ☎24-6180
(水曜と祝日を除く毎日、9時～16時)
11月の健康テレホン
県保険医協会 ☎23-4300
3分間のテープで、祝日は前日の内容が流れます

月 鳥インフルエンザ
火 膝の関節鏡手術
水 児童虐待について
木 慢性副鼻腔炎 金 歯の寿命
土、日 高齢者に多い萎縮性膀胱炎

人のうごき

(10月1日現在)
総人口 239,062人 (-91)
男 112,567人 (-96)
女 126,495人 (+5)
世帯数 93,957世帯 (+11)

9月中のうごき

転入 578 転出 697
出生 196 死亡 168

見て、聞く
させぼ
市政だより

テレビ 毎週土曜日放送(約5分間)

NBC(9時25分) NIB(11時25分)
NCC(11時40分) KTN(17時25分)

ラジオ

NBC 毎週日曜日 9時10分
FM長崎 毎週火曜日 9時05分

長崎新聞 毎月第2、4水曜日広告欄



こんにちは市長です。

宇久町と法定合併協議会設置

去る9月の定例市議会で宇久町と法定合併協議会を設置することが議決されました。来年2月までに必要な協議を整え、合併調印にこぎつけたいと願っています。

何しろ60km以上も離れた外海離島との合併は全国にも例がなく、当初はさまざまな不安が募りました。

その最大の懸念は医師の確保でした。この解決策なくしては合併は無理だと考えていましたが、この問題は県が離島診療所の医師確保のための施策を講じたことで一応のめどが付きました。もちろん近隣の町との合併にはない難問はほかにもありますが、私たち佐世保市民は、宇久町の事情にうとい面がありますが、一方宇久町の人々は買物や病院通いで佐世保を訪れ、宇久の和牛や海産物の出荷先も大半は佐世保市というように、交流は近隣の新上五島町より本市の方がはるかに多いのです。

佐世保にない外海離島の良さを合併後のまちづくりにどう生かしていくのか、これからの協議会の中で知恵を絞っていきたいと思います。

佐世保市長 光武 顕

歴史散歩

れきしさんぽ 472
大宮公設市場(大宮町)

児童公園と向き合った一角に大宮公設市場があります。公設とは、佐世保市が建てたもので所有者も市です。石川正助さんを組合長に16店が開業していて、地元の人たちから親しまれています。67年の歴史があり、市内に数多く設置された公設市場の中の唯一の生き残りです。

公設市場の誕生は、大正6(1917)年のロシア革命の後、日本が共産化を恐れてシベリア出兵に踏み切ったことがきっかけでした。戦乱が起きれば、主食の米が値上がりするだろうと大手商人の買い占め騒ぎが起き、2倍3倍と急騰した米価に怒った民衆が問屋に押しかけ、いわゆる米騒動が全国に広がりました。政府は市町村と協力して騒動を収めようと、公正価格で販売する集合店舗として設けたのが公設市場な



をしている井上満さん(63歳)は、母親が女手一つで始めた店を引き継ぎました。(筒井隆義)

